

第 3 回 山梨県自転車活用推進計画策定委員会

平成31年 3 月18日(月)

計画策定に向けた調査結果(概要版)

- | | |
|----------------------|---------|
| 1. 利用実態調査 (webアンケート) | P 1 ~10 |
| 2. 関係団体等ヒアリング調査 | P11~17 |
| 3. 道の駅アンケート調査 | P18~25 |
| 4. 観光協会等アンケート調査 | P26~35 |

1. 利用実態調査 (webアンケート)



山梨県内の自転車利用実態を把握するため、全国の自転車利用者のうち山梨県内で自転車を利用したことがある方を対象にwebアンケート調査を実施した。
 利用実態別(趣味・観光・日常)に、走行理由、居住地、利用時間・走行頻度を考慮した市町村別走行台数割合等を把握した。

調査概要

調査目的	山梨県内での自転車利用実態を把握するため、自転車利用者を対象にアンケート調査を実施		
調査内容・対象	山梨県内で自転車を利用したことがある方(全国)を対象にwebアンケート調査を実施し、回収数は1,000票。		
調査項目	質問項目	具体項目	
	回答者属性	●性別、年齢、居住地	
	趣味・観光の利用実態	●自転車利用目的・理由(趣味、観光、日常) ●同行者及び同行人数 ●利用場所 ●走行頻度 ●自転車利用日数 ●1日当たりの自転車走行時間 ●主な利用路線 ●自転車の出発目的地への移動手段	
	日常の利用実態 (山梨県内居住者のみ)	・自転車利用目的 ・走行頻度 ・主な利用路線	
	自転車利用環境の感想	・走行環境 ・受入環境	
	自転車移動に対する要望等	・自由回答	



調査結果①

山梨県での自転車の主な利用目的・理由

- 観光との回答が最も多いほか、趣味を目的とする回答も多かった。
- 回答者の年代はどの目的においても、40代が最も多かった。
- 走行理由は趣味では「サイクリングコースとして楽しい」や「運動」が多く、観光では「移動も楽しむことができる」日常では「便利」が多かった。

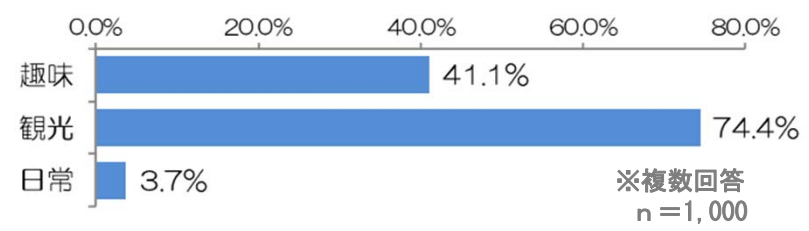


図1. 山梨県での自転車の主な利用目的

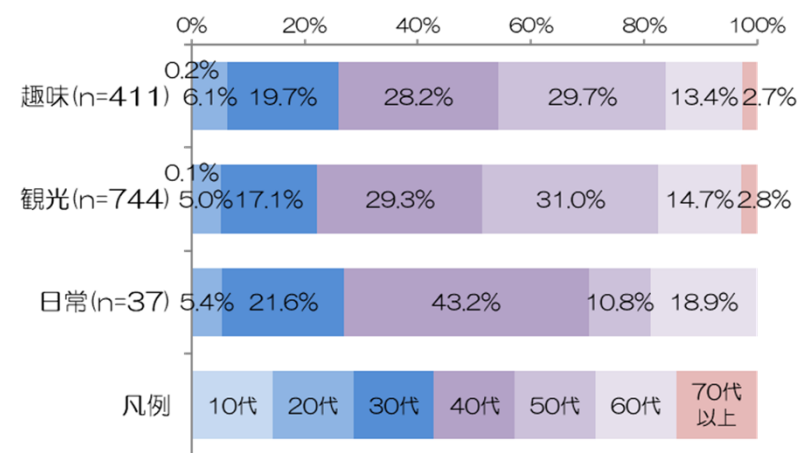


図2. 山梨県での自転車の主な利用目的（年代別）

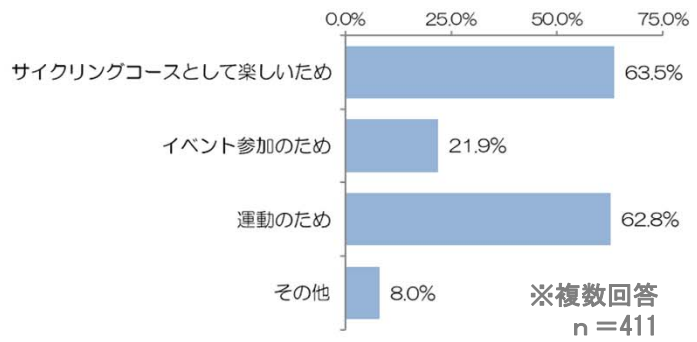


図3. 山梨県で最も多く利用する地域の走行理由（趣味）

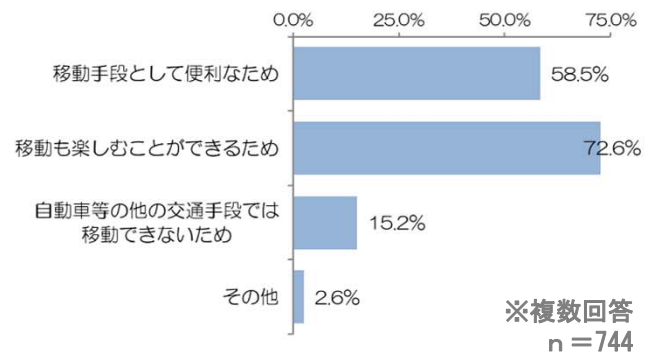


図4. 山梨県で最も多く利用する地域の走行理由（観光）

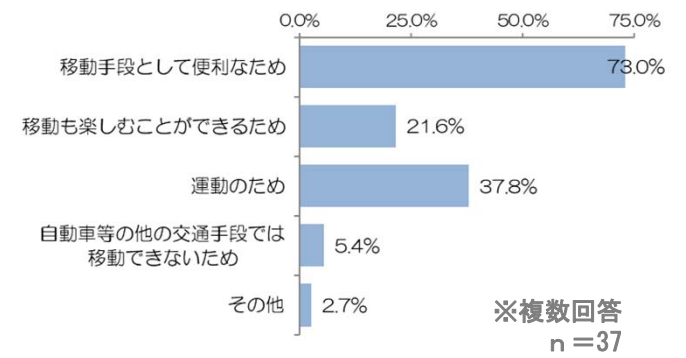


図5. 山梨県で最も多く利用する地域の走行理由（日常）



調査結果②

回答者の居住地および 日常で利用する目的

- 趣味・観光では東京都や神奈川県が多く、日常では甲府市の居住者が最も多い。
- 日常での利用目的は通勤・通学が約5割を占め最多である。

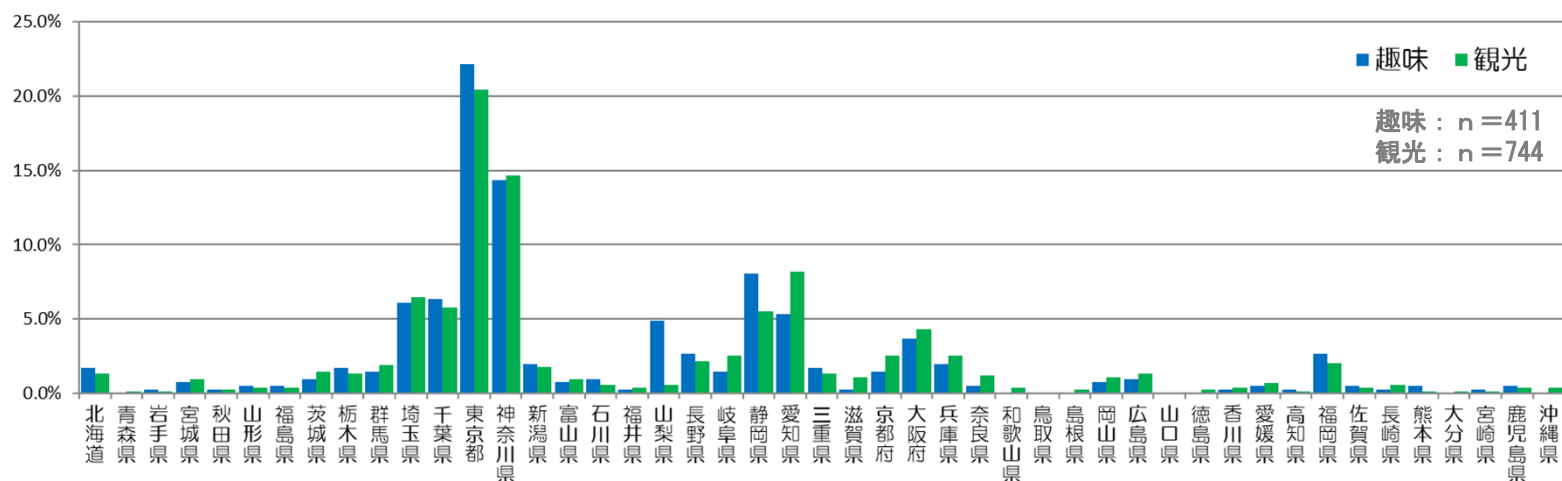


図6. 趣味・観光を主目的とする回答者の居住地

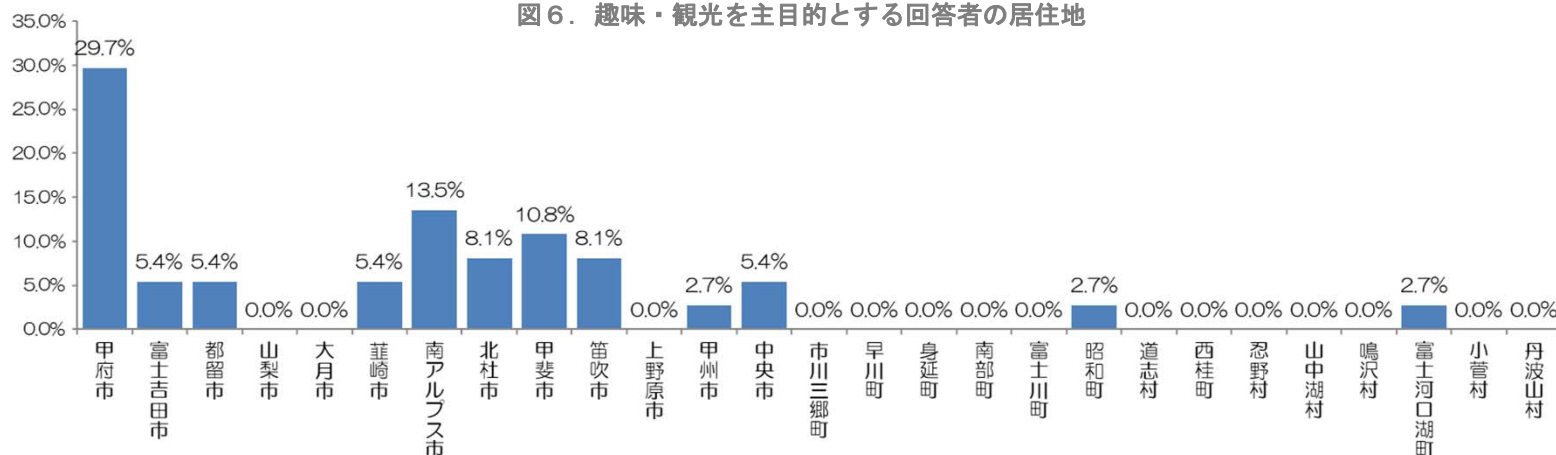
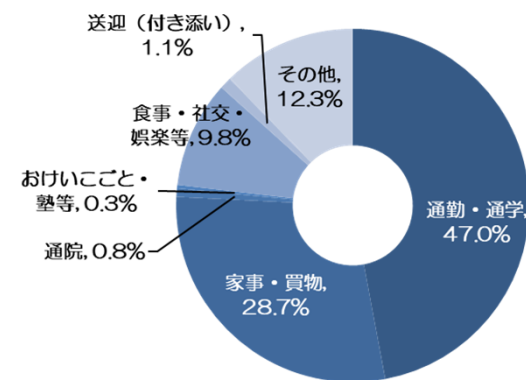


図7. 日常利用を主目的とする回答者の居住地（山梨県内） n=37



※日常で「最も多く利用する」「次に多く利用する」の合計 n=322（月間走行台数）

図8. 日常で最も多く利用する利用目的

趣味・観光に関する集計結果



調査結果⑧

趣味・観光での利用状況

- 自転車の利用時間は趣味では2～3時間および8～9時間の利用が多く、観光では6～7時間の利用が多い。
- 趣味で自転車と併せて利用する移動手段は自家用車が4割を超え最も多い。
- 観光において利用する自転車の種類は8割近くが自分の自転車である。

※回答者の走行頻度より年間走行数を算出し、各回答に乗じることで、年間走行台数に変換して集計した

年間走行回数の算出に用いた代表値は以下とした

初めて	数年に1回程度	年1回程度	年2～5回程度	月1回程度	月2～3回程度	週1回程度
0回	0.5回	1回	3.5回	12回	30回	48回

趣味

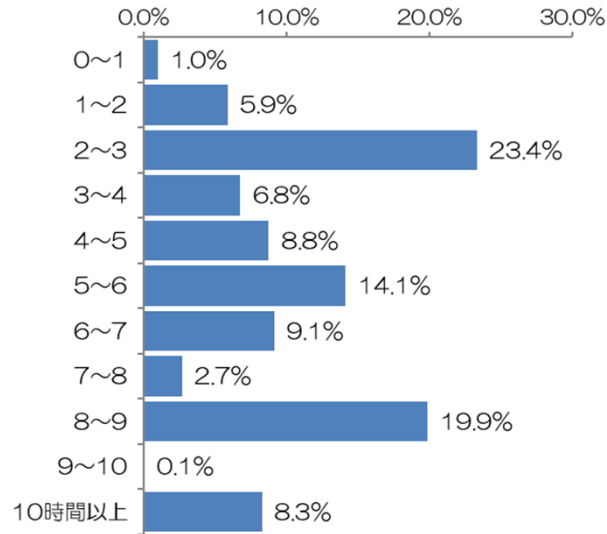


図9. 趣味で利用する際の自転車利用時間（1日あたり）

観光

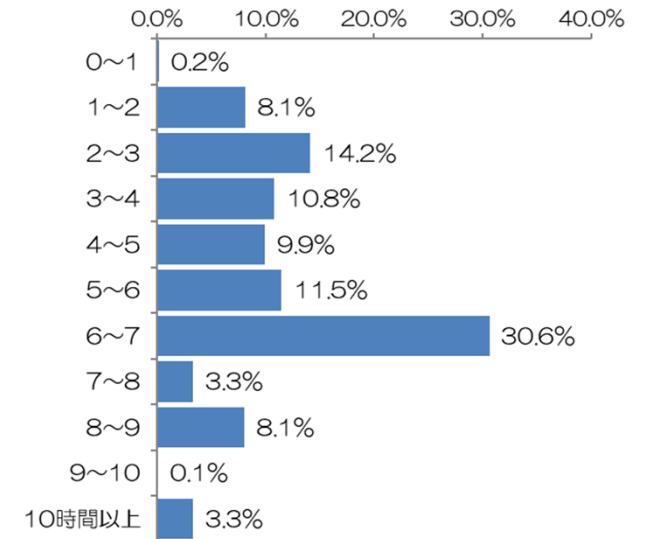


図11. 観光で利用する際の自転車利用時間（1日あたり）

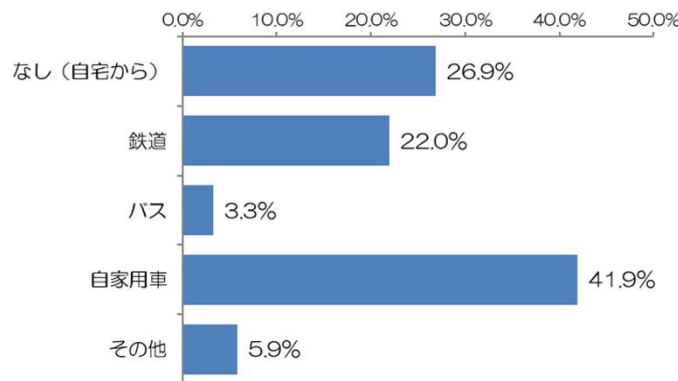


図10. 趣味で自転車と併せて利用する移動手段

※趣味で「最も多く利用する」「次に多く利用する」の合計
n = 11,438（年間走行台数）



図12. 観光で利用する際の自転車の種類

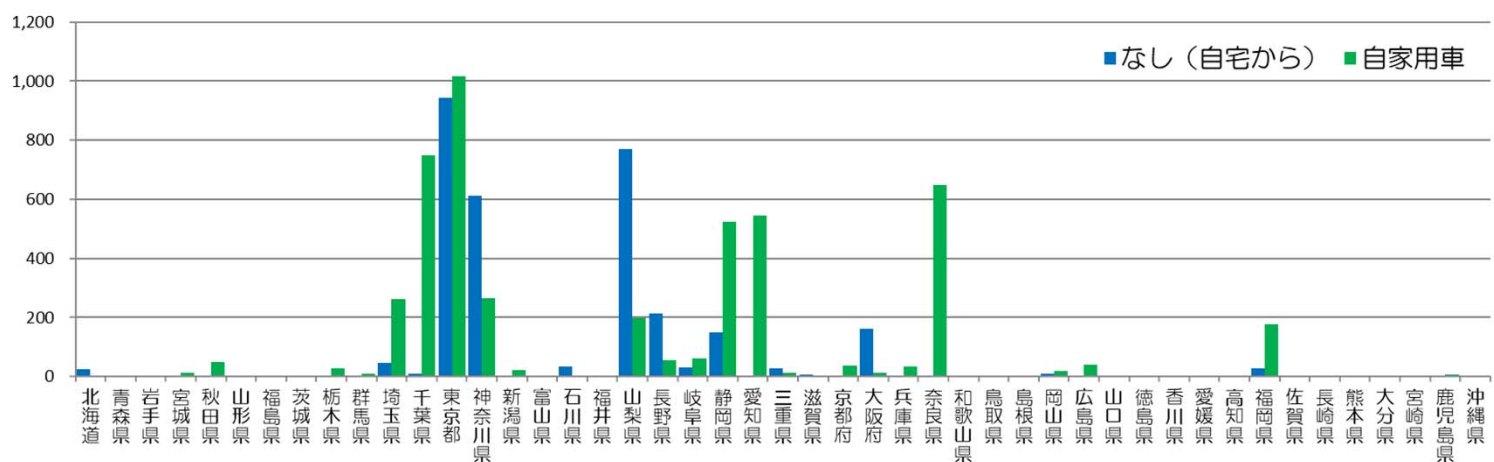
n = 5,414（年間走行台数）



調査結果⑨

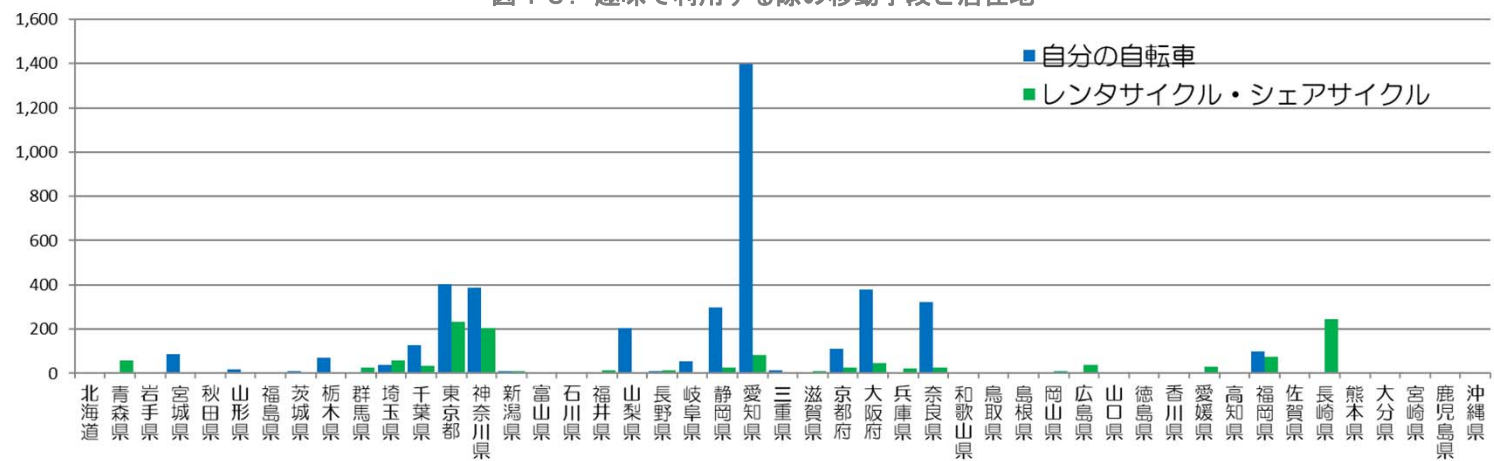
移動手段と居住地・自転車の種類と居住地

- 自宅から自転車、自家用車いずれも東京都からの来訪が最も多く、自宅から自転車は山梨県も多い。
- レンタサイクル・シェアサイクルは東京都・神奈川県・長崎県が多い。



趣味

※趣味で「最も多く利用する」「次に多く利用する」の合計
 なし（自宅から）：n=3,077
 自家用車：n=4,797
 （年間走行台数）



観光

自分の自転車：n=4,077
 レンタサイクル・シェアサイクル：n=1,336
 （年間走行台数）

※愛知県は1名が週1度全市町村を走行すると回答しているため、値が大きい。



調査結果⑩

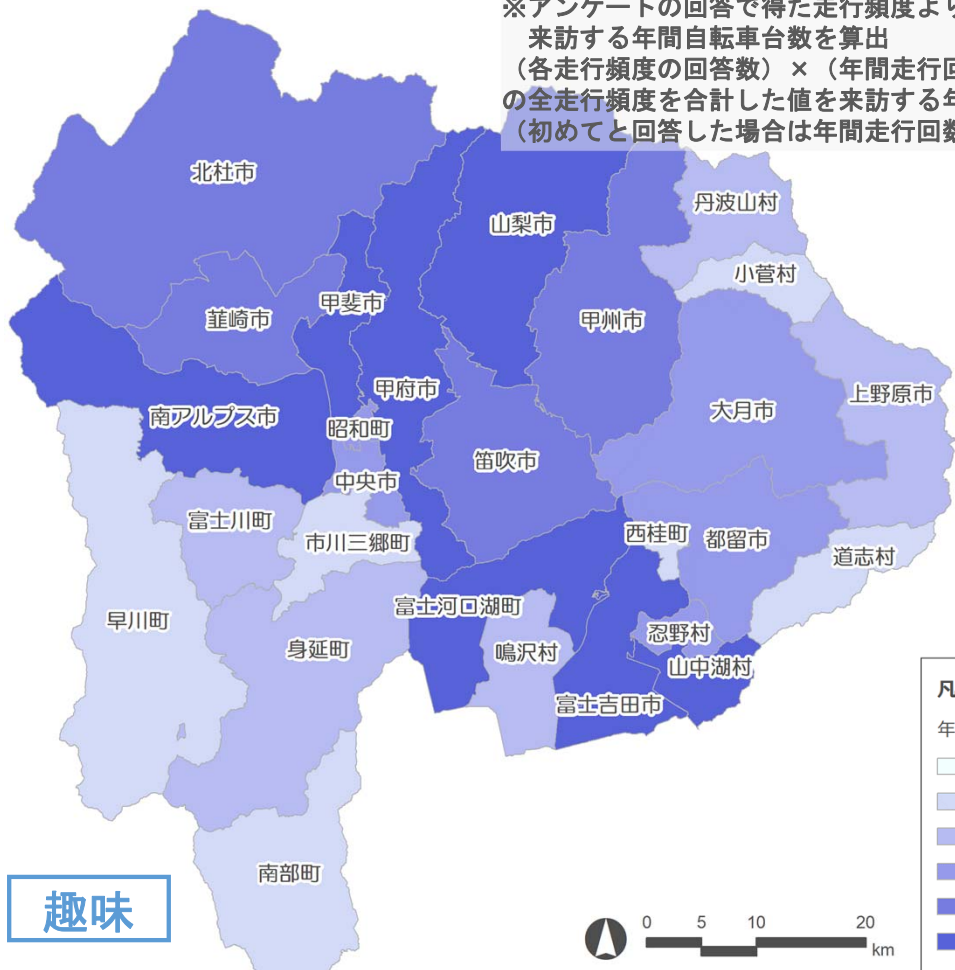
山梨県のなかで自転車でよく走行する市町

●趣味では峡中や富士五湖の周辺市町村で走行頻度が高く、観光では甲府市・南アルプス市・富士五湖周辺市町村で走行頻度が高い

※アンケートの回答で得た走行頻度より各市町村に
来訪する年間自転車台数を算出
(各走行頻度の回答数) × (年間走行回数の代表値)
の全走行頻度を合計した値を来訪する年間自転車走行台数とした
(初めてと回答した場合は年間走行回数に含めない)

年間走行回数の代表値は以下とした

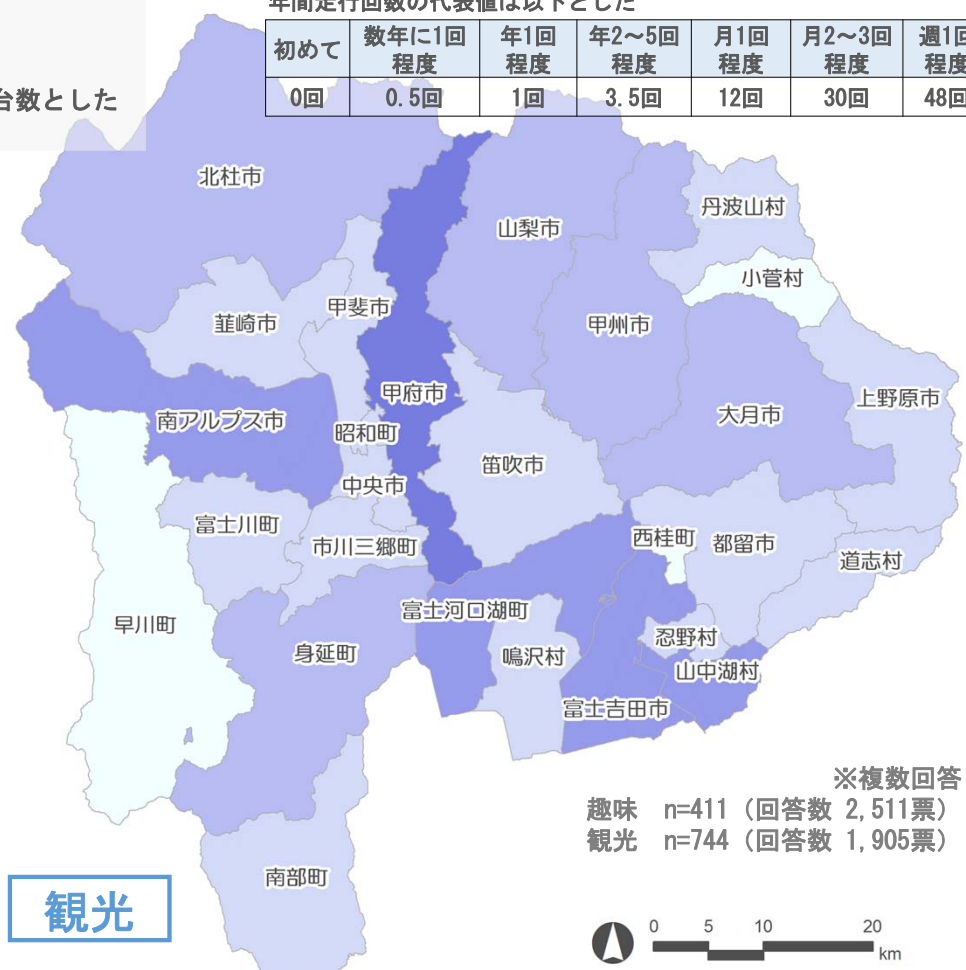
初めて	数年に1回程度	年1回程度	年2~5回程度	月1回程度	月2~3回程度	週1回程度
0回	0.5回	1回	3.5回	12回	30回	48回



趣味



図15. 趣味でよく走行する市町村 ※複数回答



※複数回答
趣味 n=411 (回答数 2,511票)
観光 n=744 (回答数 1,905票)

観光



図16. 観光でよく走行する市町村 ※複数回答



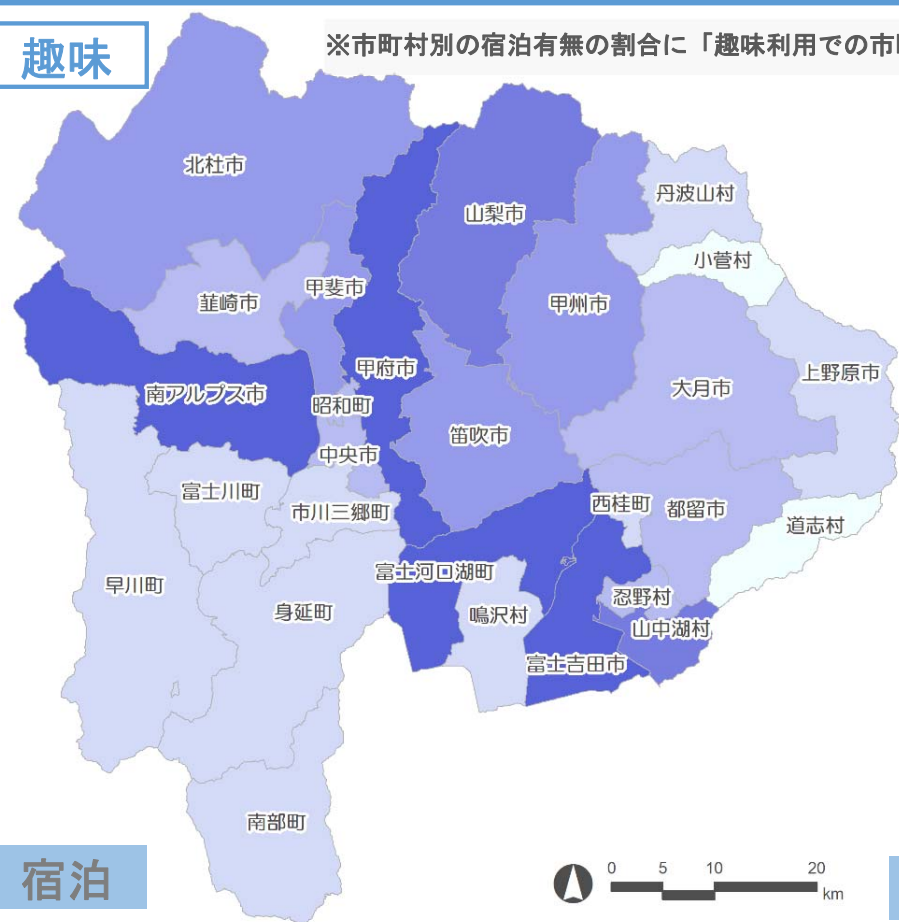
調査結果⑪

趣味利用での 宿泊/日帰りの 年間走行台数

- 甲府市、富士吉田市、南アルプス市、富士河口湖町で宿泊を伴う来訪が多い。
- 甲府市は日帰りで来訪する台数も多い。

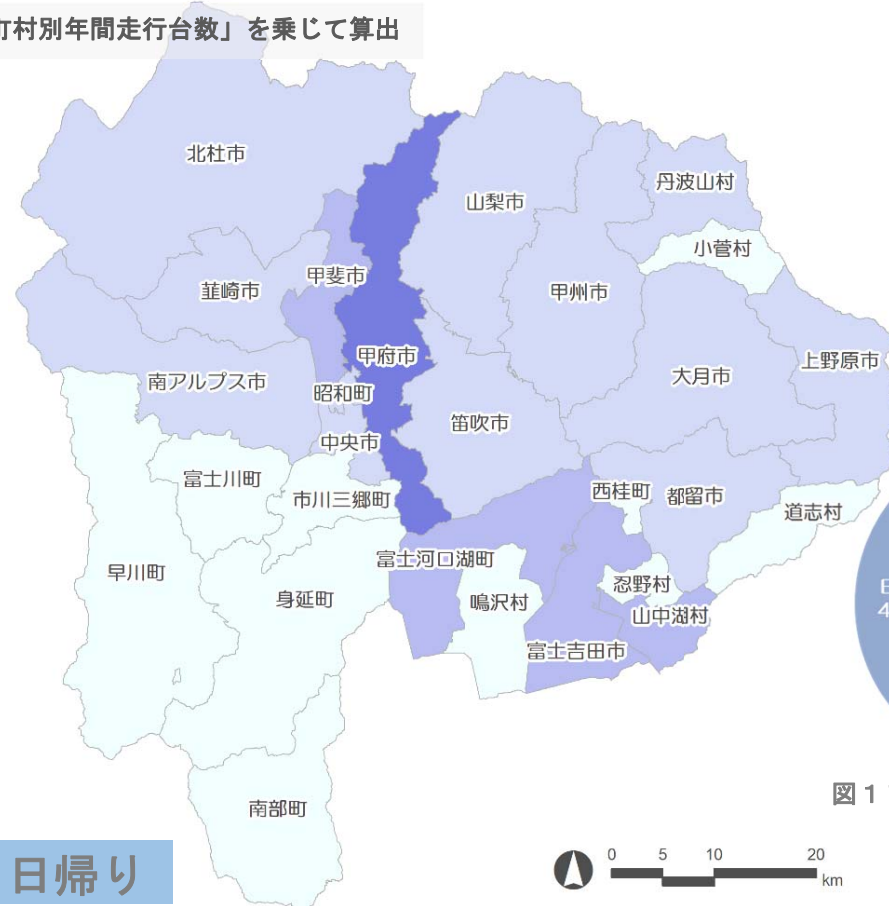
趣味

※市町村別の宿泊有無の割合に「趣味利用での市町村別年間走行台数」を乗じて算出



宿泊

図 17. 趣味利用での宿泊を伴う年間走行台数



日帰り

図 18. 趣味利用での日帰りで来訪する年間走行台数

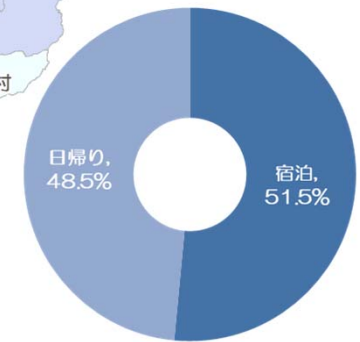


図 17. 趣味で利用する際の宿泊の有無

※趣味で「最も多く利用する」「次に多く利用する」の合計



調査結果⑫

観光利用での
宿泊/日帰りの
年間走行台数

- 甲府市、富士吉田市、南アルプス市、富士河口湖町、山中湖町で宿泊を伴う来訪が多い。
- 日帰りは山梨県全域で少ない。

観光

※市町村別の宿泊有無の割合に「観光利用での市町村別年間走行台数」を乗じて算出

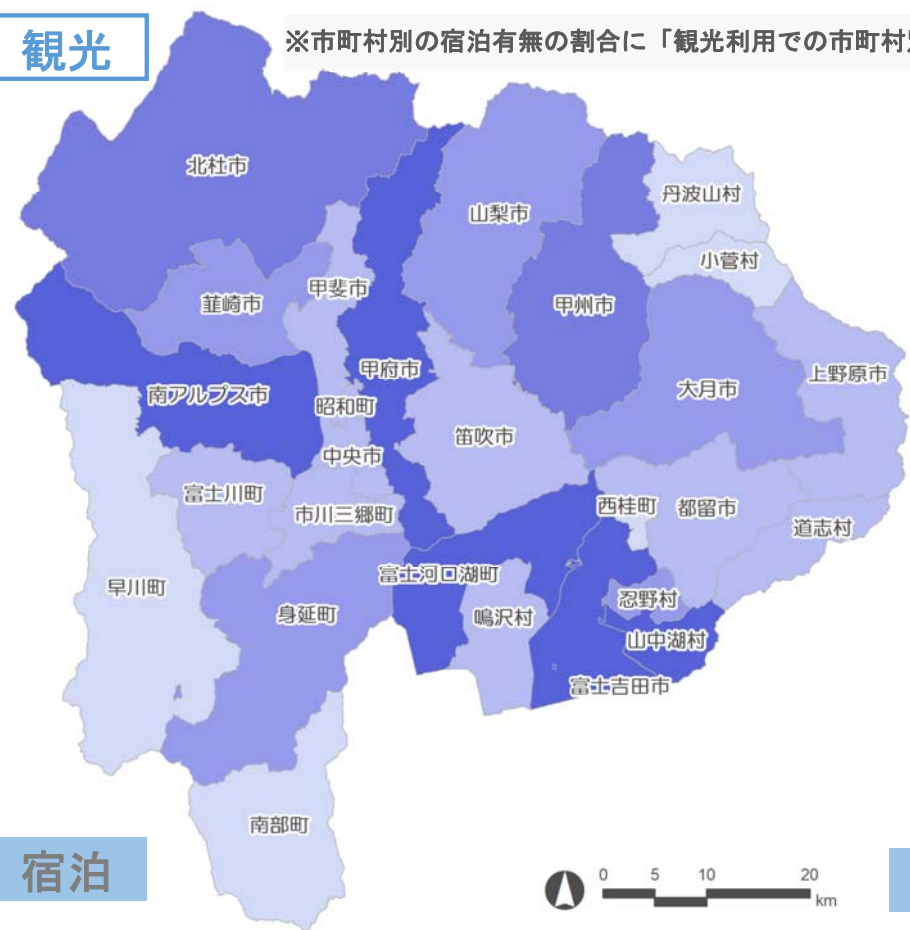


図19. 観光利用での宿泊を伴う年間走行台数

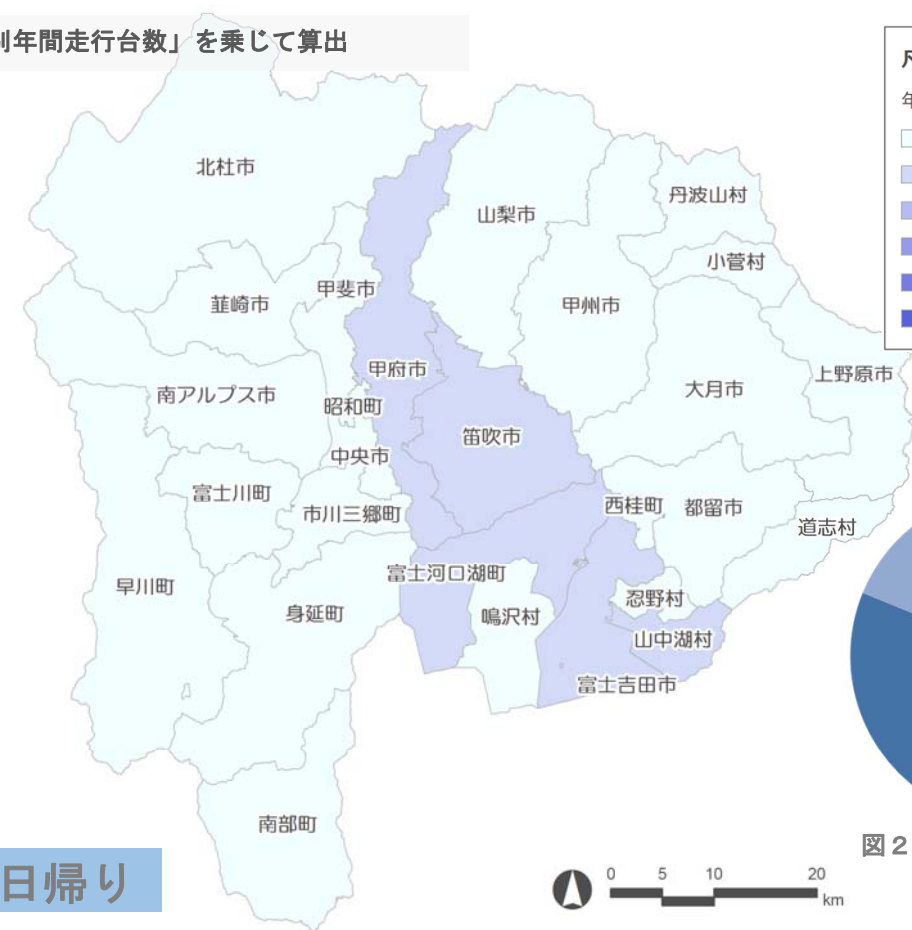


図20. 観光利用での日帰りで来訪する年間走行台数

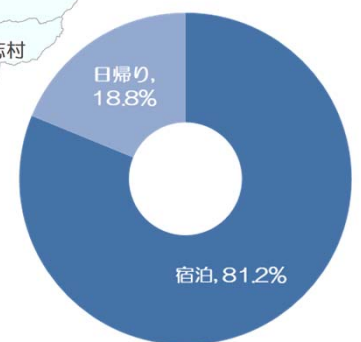
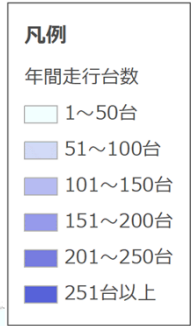


図20. 観光で利用する際の宿泊の有無

宿泊

日帰り

2. 関係団体等ヒアリング調査



山梨県内の自転車利用者の来訪状況や関係団体等の自転車利用者への対応状況、施策の導入可能性等を把握することを目的に、関係団体等に対してアンケート・ヒアリング調査を実施した。

アンケート・ヒアリング調査対象

分類	項目	対象	調査概要	調査方法
民間	観光	観光協会、観光連盟等 (民間旅行関連会社を含む)	・シェアサイクル等の利用状況 ・イベントの実施状況	アンケート
		鉄道事業者、バス事業者	・鉄道事業やバス事業との連携の可能性	ヒアリング
		シェアサイクル等事業者	・シェアサイクル等の実施状況	ヒアリング
		自転車に関する活動を行っている民間団体等(オリンピック関連含む)	・サイクリングイベント等に関する取組内容	ヒアリング
		コンビニエンスストア業界団体	・コンビニエンスストアとの連携の可能性	ヒアリング
		自動車販売店業界団体	・休憩施設としての連携の可能性	ヒアリング
	安全・防災	安全教育実施団体	・自転車安全教育の実施状況	ヒアリング
	健康・スポーツ	自転車販売店	・販売店、施設の取組状況、今後の展開	ヒアリング
		自転車関連施設	・施設の利用状況・取組、今後の展開の可能性	ヒアリング
タンデム自転車活用関連団体 (福祉関連団体含む)		・タンデム自転車活用の可能性	ヒアリング	
その他 (参考調査) 【行政】	観光	道の駅	・道の駅を拠点とした展開の可能性	アンケート
	まちづくり・環境	サイクルアンドライド実施市町村	・サイクルアンドライドの実施状況	ヒアリング
	健康・スポーツ	自転車関連施設・スポーツ施設	・施設の利用状況・取組、今後の展開の可能性	ヒアリング



【観光】

- ・ 観光関連団体の動向としては、地域の特性を活かし高低差や特産品を楽しむイベントや情報発信等が行われている。
- ・ 交通事業者では、自転車利用者に対する新たなサービスは計画されていない。
- ・ NPO等を中心にさまざまなサイクリングイベントが行われており、情報発信の強化により地域活性化が期待される。

アンケート・ヒアリング調査結果

分類	調査概要	調査結果概要	調査結果を踏まえた対応(案)
民間	・ イベントの実施状況	・ ヒルクライムやフルーツライドなど、地域の特性を活かし高低差や特産品を楽しむイベントを行っている。また、東京で情報発信やPRのためのイベントを行う例もある。	・ 「観光資源等を活用したサイクルツーリズムの展開」と連携が考えられる。
	・ 鉄道事業やバス事業との連携の可能性	・ 現時点では、サイクルトレインの導入意向はない。 ・ サイクルトレインを導入する場合は、乗降駅の安全確保が必要となる。 ・ 平成31年3月から、新宿から富士山麓間に毎日運行する特急列車が導入される。 ・ 路線バスや高速バスでの自転車持ち込み等の対応予定はない(輸行は可能)。	・ 事業者に対し鉄道事業やバス事業との連携の有用性を提示できるよう検討する。
	・ シェアサイクル等の実施状況	・ 甲州市内で導入され、約2,400台/年を貸し出し、利益は発生していない。今後も継続運用予定である。	・ シェアサイクル等の導入支援方策の検討の参考とする。
	・ サイクリングイベント等に関する取組内容	・ NPO等が主催となり、サイクリングイベント等を実施している。サイクリングマップ作成も計画している。 ・ サイクリングコースを提唱し、愛好者を中心にツーリングイベントを行っている。 ・ マウンテンバイクの利活用を通じて地域振興、地域活性化を目指している。 ・ 地域の自転車販売店や愛好家からなる組織にて、サイクルラックや簡易工具等の配置を計画している。	・ 民間事業者によるツーリングイベント等の情報提供方法を検討する。 ・ 地域と連携した自転車利用の促進を図る。



【観光】

- ・ コンビニエンスストアでは、サイクルラックを導入している店舗もあり、今後も展開していく意向がある。
- ・ 道の駅では、サイクルラックの設置は7割の施設で実施されており、休憩施設としての機能を有している。

アンケート・ヒアリング調査結果

分類	調査概要	調査結果概要	調査結果を踏まえた対応(案)
民間	・ コンビニエンスストアとの連携の可能性	・ 自転車利用者の休憩施設として利用いただくことは積極的に展開可能である。サイクルラック等の導入は、設備を貸し出していただくことで対応可能である(一部サイクルラックの導入済み)。	・ コンビニエンスストアでのサイクリスト向けのサービスの提供を促進する。
	・ 自動車販売店の休憩施設としての連携の可能性	・ トイレ利用や水分補給の利用は可能であるが、サイクルラック設置等の判断は店舗による。 ・ 自転車活用推進に関するPRに協力することは可能である。	—
その他 (参考調査) 【行政】	・ 道の駅を拠点とした展開の可能性	・ サイクルラックの設置は7割の施設で実施されており、今後の取組についても前向きな施設がある。レストラン等を休憩地点として利用可能である。	・ 拠点施設(駅、道の駅等)でのサイクリスト向けサービスの参考とする。



【まちづくり・環境】

- ・ 甲府市ではサイクルアンドバスライドが実施されており、周知活動が予定されている。
- ・ 歩行者の視点からは、自転車との錯綜による安全性に課題があることが指摘されている。

アンケート・ヒアリング調査結果

分類	調査概要	調査結果概要	調査結果を踏まえた対応(案)
その他 (参考調査) 【行政】	・ サイクルアンドライドの実施状況	・ 甲府市内では、サイクルアンドバスライドが実施されており、利用者増を目指し市民への周知活動を行う予定である。	・ サイクルアンドバスライドの取組を周知する。
民間	・ 歩行者の視点	・ マナーが悪い自転車利用者が多いため、マナーの徹底が必要である。 ・ 広い道路では問題はない。自転車道の整備が必要である。	・ 自転車の通行ルール啓発の参考とする。

【安全・防災】

- ・ 交通安全教室が開催された実績はあるが、定期的な実施までは至っていない。

アンケート・ヒアリング調査結果

分類	調査概要	調査結果概要	調査結果を踏まえた対応(案)
民間	・ 自転車安全教育の実施状況	・ 一般企業にて、交通安全教室が開催されているが、定期的な実施までは至っていない。	・ 「自転車の安全利用の促進」において、安全に対する啓発・周知活動方法を検討する。



【健康・スポーツ】

- ・ 自転車販売店では、ツーリングや安全教育が行われている。
- ・ 民間の自転車施設では、利用者層の拡大を促す取組が行われている。
- ・ タンDEM自転車の認知度向上に向けた取組が行われている。

アンケート・ヒアリング調査結果

分類	調査概要	調査結果概要	調査結果を踏まえた対応(案)
民間	・ 販売店の取組状況、今後の展開	<ul style="list-style-type: none"> ・ クラブを運営し、走行会・ツーリング等を行っている。初心者を対象に安全教育を行っている。 ・ 地域のサイクルイベントでの先導やガイドを行っている。 ・ レンタサイクル(スポーツタイプ)を実施している販売店もある。 ・ 安全教育や保険加入促進を行っていく予定である。 ・ 郊外での自転車故障に対する出張修理サービスの予定はない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「自転車の素晴らしさや健康効果等の啓発」において、販売店の取組に関する情報提供方法を検討する。
	・ 施設の利用状況・取組、今後の展開の可能性	<ul style="list-style-type: none"> ・ BMXコースを有する施設では、選手育成やイベント開催等、地域活性化につながる取組が展開されている。 ・ スキー場では、夏期にゲレンデを利用したMTBコースを整備し、約6,500人/年の利用がある。現在はMTB愛好者の「レーサー層」が中心だが、レジャーとして楽しむ「非レーサー層」も共存できるコース改修を行い、家族連れ等も対象として裾野を広げていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「自転車競技施設等の活用」として、民間施設との連携方策を検討する。
	・ タンDEM自転車活用の可能性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現状では利用が少ないが、日常の足や視覚障がい者のスポーツ活動として利用できるようになると魅力的である。 ・ レンタサイクルとしての貸し出しやスポーツ大会への組み込み等、社会的認知度を上げることが大切だと思う。 ・ 地域の方からなる組織にて、認知度向上に向けたPRを行っている。試乗会も計画中である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「タンDEM自転車の活用促進の検討」において、スポーツ大会等への活用を検討する。



【健康・スポーツ】

- ・ 自転車関連施設では、一般開放やイベント、安全教室等が行われている。

アンケート・ヒアリング調査結果

分類	調査概要	調査結果概要	調査結果を踏まえた対応(案)
その他 (参考調査) 【行政】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設の利用状況・取組、今後の展開の可能性 	<p>【境川自転車競技場】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 約10,700人/年の利用で増加傾向にある。競技者だけではなく一般ユーザーの利用も推奨している。 ・ 一般参加のイベントを開催し、親子に参加いただいたが、自転車振興の裾野を広げる観点から非常に有効である。 ・ 自転車のレンタルサービスや、子供向けの技術的な安全教育の導入を検討している。 <p>【山梨県森林公園金川の森】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1周8kmのコースがある。自転車のレンタルを行っている。 ・ サイクルカートに乗って交通ルールを学ぶことができる。 ・ マウンテンバイク教室や、案内人と一緒に自転車に乗って旬の自然や地域の歴史を楽しむサイクルガイドを行っている。 <p>【穂坂自然公園ふれあいセンター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ マウンテンバイク利用者は約100人/年である。 ・ 自転車利用に関するサービスは行っていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「自転車競技施設等の活用」として、既存施設の県民への積極的な活用を促す。

3. 道の駅アンケート調査



山梨県内の道の駅における自転車利用状況や自転車利用推進の取り組み状況を把握するため、県内の道の駅を対象にアンケート調査を実施した。
 自転車での来訪状況、自転車利用への取り組み状況を把握し、道の駅を自転車利用の拠点とする可能性の検討材料とした。

調査概要

調査目的	山梨県内の道の駅の自転車利用実態および自転車利用への取り組み状況を把握する													
調査内容・対象	山梨県内の道の駅全21施設を対象にアンケート調査を実施し、全施設より回答を得た。 <div style="border: 1px dashed gray; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 回答施設:こぶちざわ、はくしゅう、南きよさと、葎崎、しらね、とよとみ、富士川、しもべ、みのぶ富士川観光センター、なんぶ、とみざわ、みとみ、花かげの郷まきおか、甲斐大和、たばやま、こすげ、つる、どうし、富士吉田、なるさわ、かつやま </div>													
調査項目	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 40%;">質問項目</th> <th>具体項目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>自転車の利用状況</td> <td>・ 自転車来訪の多い時期 ・ 自転車来訪者数、外国人割合</td> </tr> <tr> <td>自転車関連設備の有無</td> <td>・ サイクルラック、空気入れ、修理工具等の設置の有無</td> </tr> <tr> <td>自転車利用の取り組み状況</td> <td>・ 実施している（実施予定の）サービスおよび取り組み</td> </tr> <tr> <td>レンタサイクルの実施状況</td> <td>・ 貸出の有無 ・ （有りの場合）レンタサイクルの概要</td> </tr> <tr> <td>自転車による道の駅の利用について</td> <td>・ 自由回答（利点、課題等）</td> </tr> </tbody> </table>		質問項目	具体項目	自転車の利用状況	・ 自転車来訪の多い時期 ・ 自転車来訪者数、外国人割合	自転車関連設備の有無	・ サイクルラック、空気入れ、修理工具等の設置の有無	自転車利用の取り組み状況	・ 実施している（実施予定の）サービスおよび取り組み	レンタサイクルの実施状況	・ 貸出の有無 ・ （有りの場合）レンタサイクルの概要	自転車による道の駅の利用について	・ 自由回答（利点、課題等）
質問項目	具体項目													
自転車の利用状況	・ 自転車来訪の多い時期 ・ 自転車来訪者数、外国人割合													
自転車関連設備の有無	・ サイクルラック、空気入れ、修理工具等の設置の有無													
自転車利用の取り組み状況	・ 実施している（実施予定の）サービスおよび取り組み													
レンタサイクルの実施状況	・ 貸出の有無 ・ （有りの場合）レンタサイクルの概要													
自転車による道の駅の利用について	・ 自由回答（利点、課題等）													



調査結果①

道の駅における自転車の利用状況について

- 自転車利用者は8月に多いと回答する施設が最も多い。
- 自転車来訪者数は50人/月以下の施設が多い中、「どうし」は飛び抜けて利用者が多い。
- 「かつやま」は自転車来訪者の約9割が外国人と回答している。

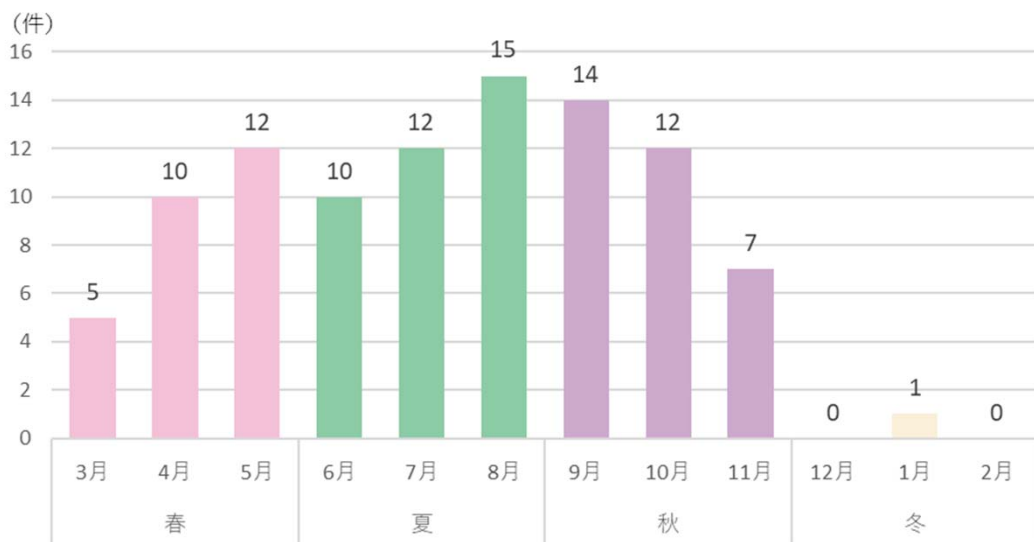


図1. 自転車による来訪者が多い時期 (複数回答) n = 16

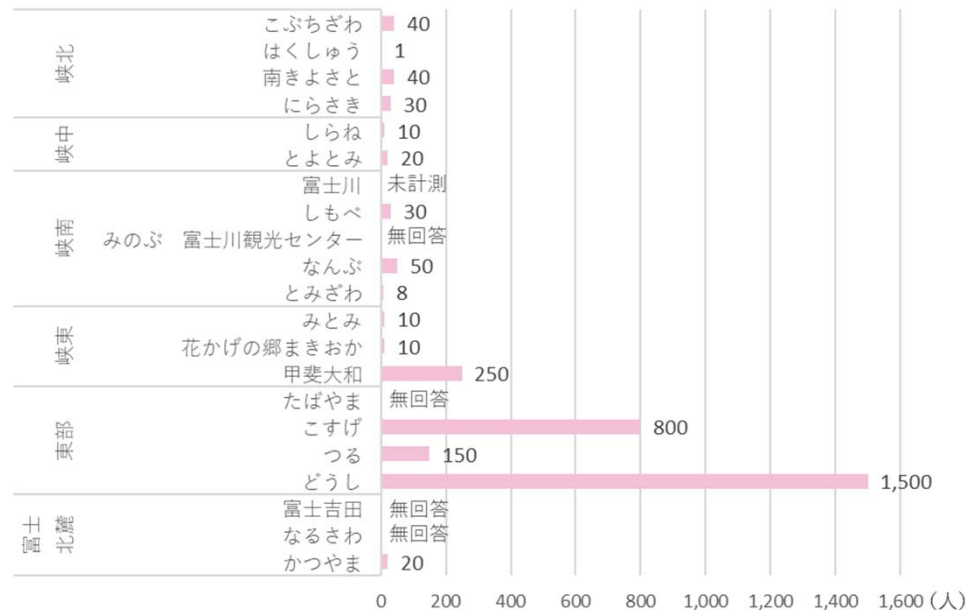


図2. 月あたりの自転車による来訪者数

表1. 自転車来訪者数に占める外国人の割合と月あたりの来訪者数

地域	道の駅	外国人割合	外国人来訪者数 (人/月)
峡北	にらさき	0.0%	0
峡中	しらね	3.0%	0.3
	とよとみ	10.0%	2
峡南	しもべ	1.0%	0.3
	なんぶ	0.0%	0
	とみざわ	10.0%	0.75
峡東	みとみ	0.0%	0
東部	花かげの郷まきおか	0.0%	0
	甲斐大和	0.0%	0
	こすげ	5.0%	40
東部	つる	10.0%	15
	どうし	10.0%	150
富士北麓	かつやま	90.0%	18

※外国人割合の回答があった施設のみ



調査結果②

道の駅に設置している自転車関連設備について

- サイクルラックは7割の施設が設置済みであるが、空気入れや修理工具は未設置の施設も多い。
- 自転車来訪者数の多い「どうし」や「こすげ」では比較的サイクルラックの利用可能台数が多い。

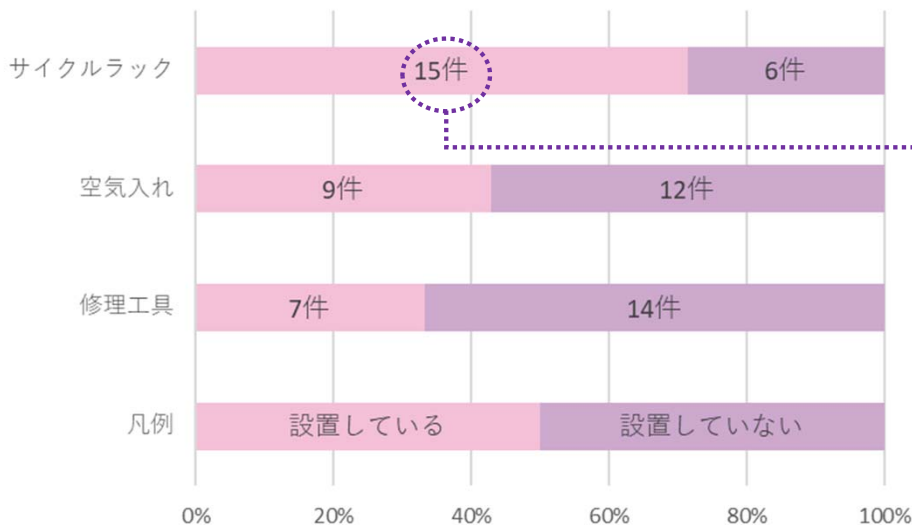


図3. 自転車設備の設置の有無 n=21

表2. サイクルラックを設置している場合の利用可能台数

地域	道の駅	利用可能台数 (台)
峡北	南きよさと	5
峡中	しらね	6
峡南	富士川	6
	なんぶ	10
峡東	みとみ	10
	花かげの郷まきおか	10
東部	こすげ	30
	たばやま	15
	つる	10
	どうし	20
富士北麓	かつやま	8

※回答があった施設のみ

表3. その他設置している設備

地域	道の駅	その他設備
峡南	富士川	NPO法人やまなしサイクルプロジェクトによるPRブースの設置

※回答があった施設のみ



調査結果③

道の駅における 自転車利用の 取り組みについて

- 「はくしゅう」では湧水提供をしており、水のきれいな地域の特性を活かしたサービスが行われている。
- 「どうし」ではスポーツ選手向けの飲食の提供を検討しており、オリンピックのロードレースコース周辺施設としての意識が伺える

表4. 自転車で道の駅に訪れる方へのサービスや取り組み

峡北	はくしゅう	湧水を無料で提供している。（自転車での来訪者だけでなく、全ての来訪者を対象としている）
峡南	富士川	やまなしサイクルプロジェクト主催の自転車イベントへの会場提供。 (11月 南アルプスロングライド、3月 シクロクロス富士川)
東部	たばやま	サイクルラック3台設置（各5台）計15台ほど利用可、案内所にて空気入れの貸出。
	こすげ	過去にヒルクライム大会の写真展を実施。
	どうし	サイクルラック等の設備設置を優先して進めている。
富士北麓	富士吉田	「富士五湖サイクリングマップ」の配布。

表5. 今後、自転車利用促進のために予定しているサービスや取り組み

峡北	こぶちざわ	サイクルラックを設置したい。
峡南	富士川	季節ごとのおすすめサイクリングコースの案内など。
	なんぶ	多目的室があるので自由に休憩を取っていただいたり、食事のスペースとして利用して頂けたら なと思います。
東部	どうし	スポーツ選手向けの飲食提供ができればと考えている。



調査結果④

道の駅における レンタルサイクルの 実施状況について

- 「富士川」では、家族で楽しめるよう数種類のタイプの自転車を貸し出している。
- 「たばやま」では、期間限定の事業として行っている。

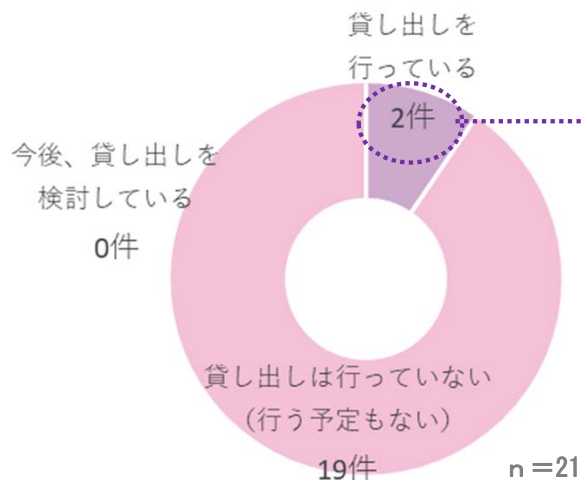


図4. 道の駅でのレンタルサイクルサービスの有無



表6. レンタサイクルサービスの概要

地域	道の駅	事業名	営業時間	車種	貸出可能台数	料金	備考
南部	富士川	道の駅富士川 レンタルサイクル	9:00~15:00	クロスバイク	4台	3時間500円	
				電動クロスバイク	6台		
				ロードバイク	4台		
				キッズMTB	2台		
東部	たばやま	秋のレンタルバ	9:00~16:00	電動アシスト付き自転車	—	1日500円	※H30年10月12日~11月11日の期間限定



調査結果⑤

自転車による道の駅の
利用について
(利点・課題)

- 施設内のレストランで飲食しながら休憩をとってもらうことは、サイクリストにとっても、施設にとっても利点がある。
- 地域の特性上、高低差が多く、自転車利用が進まないという課題を持つ施設がある。

表7. 自転車による道の駅利用に関する利点と課題

利点	峡北	こぶちざわ	・当道の駅はレストラン、足湯等があるため休憩地点として利用可能。
		はくしゅう	・湧水の無料提供、レストランがあるため、休憩地点として利用可能。
	峡南	富士川	・車では気づかないような小さな名所、観光地を巡ってもらえる。
	峡中	とよとみ	・二酸化炭素等の有害ガスが発生しない。
	東部	たばやま	・歩きでは遠い・車では駐車スペースがないところでも気軽に行ける。
課題	峡南	富士川	・交通量の多い道路に面しているので安全対策など。レンタルサイクルのPR不足。
		しもべ	・道の駅しもべは起伏の激しい地形から自転車の利用者は少ない。
		なんぶ	・道の駅なんぶ周辺は、ゆるやかではあるが坂道が多いため、お子様や女性の方には少しきついかもしれません。
		とみざわ	・自転車のお客様5月、8月に多く雨の日などは屋根がある場所又はテントをはれる場所などが必要と感じています。
	東部	たばやま	・レンタル用自転車の保管場所・貸出と返却時の対応（道の駅で行ったため）
		どうし	・歩行者で混雑している構内を乗車したまま乗り入れる人がおり、安全面で対策が必要。 ・買い物が目的でないため、営業面で対策する必要がある。
	富士北麓	なるさわ	・村内は傾斜が多く観光地点が離れすぎているため自転車でのメリットを多く出せない。



調査結果⑥

自転車による道の駅の利用について（全般）

- 自転車利用を促進するには、安全面や交通渋滞の面から、自転車の走行環境の整備が必要である。

表8. 自転車利用全般についての意見

峡北	こぶちざわ	・小淵沢町は坂道が多く道も狭い箇所があるため、運転にご注意いただきたい。
峡中	とよとみ	・自転車を推進するには、広域的なサイクリングロードの整備が必要です。
峡南	富士川	・県内を安全にまわれるようなサイクリングロードの整備が推進されると有難い。 ・それに伴い、コース近隣の休憩施設などの案内があれば、利用者に紹介しやすい。
	しもべ	・現在中之倉地内において国道300号の改良工事を進められており早期完成が望まれる。
	みのぶ 富士川観光センター	・公共交通機関が乏しい山梨県では、自転車は有効な移動手段であるとともに、特定の観光スポットだけでなく隠れた観光スポットなどへの誘導や滞在時間の延長、観光施設間を連携させる効果が望めるのではないか。 ・今後、貸出事業が可能か検討したい。県の政策にも期待したい。
峡東	みとみ	・現時点、利用者が多いようには感じない。
	はなかげの郷まきおか	・現時点、利用者が多いようには感じない。
東部	どうし	・自転車で道路利用されるお客様からは、自転車専用路を望む声がある。車より速度が遅く、かといって簡単に追い越しができないため、渋滞を作り出す要因にもなっている。

4. 観光協会等アンケート調査



山梨県内の観光における自転車利用状況や観光協会等での自転車利用推進の取り組み状況を把握するため、県内の観光協会等を対象にアンケート調査を実施した。
 自転車での管轄範囲への来訪状況、自転車利用への取り組み状況を把握し、サイクルツーリズム推進施策の検討材料とする。

調査概要

調査目的	山梨県内の観光における自転車利用実態および自転車利用への取り組み状況を把握する													
調査内容・対象	山梨県内の観光協会等(地域の観光振興を目的とした事業者・団体)を対象にアンケート調査を実施し、15施設より回答を得た。 回答観光協会等: 韮崎市観光協会、富士川地域・身延線沿線観光振興協議会、身延町身延山観光協会、石和温泉観光協会、笛吹市観光物産連盟、山梨市観光協会、(一社)上野原市観光協会、都留市観光協会、大月市観光協会、(一社)山中湖観光協会、(一社)富士五湖観光連盟、ふじよしだ観光振興サービス、鳴沢村観光協会、(一社)富士河口湖町観光連盟、忍野村観光協会													
調査項目	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="371 1018 853 1086">質問項目</th> <th data-bbox="853 1018 2213 1086">具体項目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="371 1086 853 1193">自転車利用状況</td> <td data-bbox="853 1086 2213 1193"> ・ 自転車来訪の多い時期 ・ 自転車来訪者数、外国人割合 ・ 利用目的 ・ 主な交通手段 ・ 自転車来訪者数推移 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="371 1193 853 1300">自転車利用の取り組み状況</td> <td data-bbox="853 1193 2213 1300"> ・ サイクリングコース等の設定、休憩場所等の提供、情報提供の有無 ・ 実施している(実施予定の)サービスや取り組み </td> </tr> <tr> <td data-bbox="371 1300 853 1369">サイクルイベントの有無</td> <td data-bbox="853 1300 2213 1369"> ・ イベント実施の有無 ・ (実施の場合)サイクルイベントの概要 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="371 1369 853 1437">レンタサイクルの実施状況</td> <td data-bbox="853 1369 2213 1437"> ・ 貸出の有無 ・ (有りの場合)レンタサイクルの概要 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="371 1437 853 1527">自転車による観光について</td> <td data-bbox="853 1437 2213 1527"> ・ 自由回答(利点、課題等) </td> </tr> </tbody> </table>		質問項目	具体項目	自転車利用状況	・ 自転車来訪の多い時期 ・ 自転車来訪者数、外国人割合 ・ 利用目的 ・ 主な交通手段 ・ 自転車来訪者数推移	自転車利用の取り組み状況	・ サイクリングコース等の設定、休憩場所等の提供、情報提供の有無 ・ 実施している(実施予定の)サービスや取り組み	サイクルイベントの有無	・ イベント実施の有無 ・ (実施の場合)サイクルイベントの概要	レンタサイクルの実施状況	・ 貸出の有無 ・ (有りの場合)レンタサイクルの概要	自転車による観光について	・ 自由回答(利点、課題等)
質問項目	具体項目													
自転車利用状況	・ 自転車来訪の多い時期 ・ 自転車来訪者数、外国人割合 ・ 利用目的 ・ 主な交通手段 ・ 自転車来訪者数推移													
自転車利用の取り組み状況	・ サイクリングコース等の設定、休憩場所等の提供、情報提供の有無 ・ 実施している(実施予定の)サービスや取り組み													
サイクルイベントの有無	・ イベント実施の有無 ・ (実施の場合)サイクルイベントの概要													
レンタサイクルの実施状況	・ 貸出の有無 ・ (有りの場合)レンタサイクルの概要													
自転車による観光について	・ 自由回答(利点、課題等)													



調査結果①

観光客による自転車の利用状況について

- 自転車の来訪者が多い時期は春から秋にかけては、まんべんなく回答が得られている。

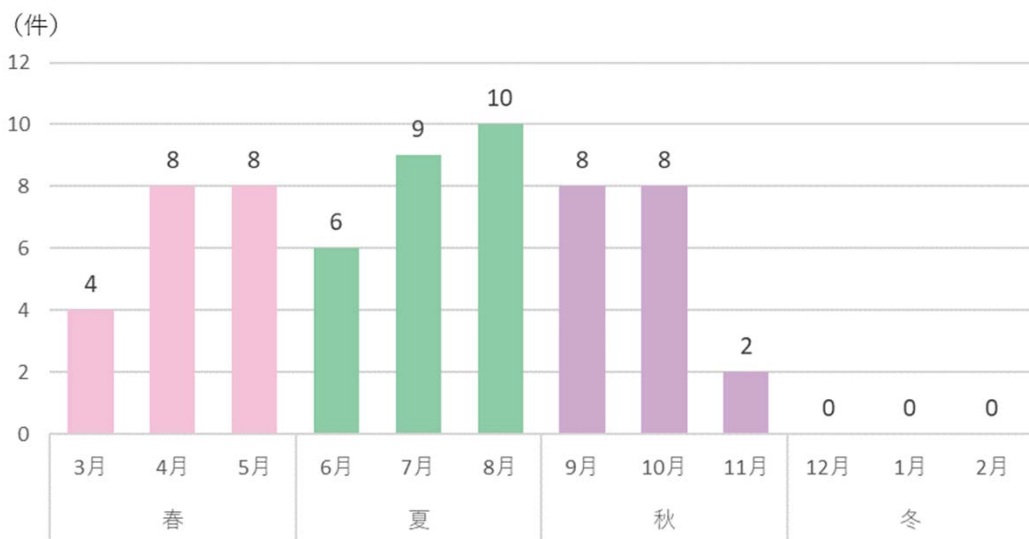


図1. 自転車による来訪者が多い時期 (複数回答) n=12

表1. 管轄範囲内の年間の自転車来訪者数、および外国人の割合・来訪者数

地域	観光協会等の名称	自転車来訪者数 (人/年)	外国人割合	外国人来訪者数 (人/年)
峡南	身延町身延山観光協会	500	10%	50
富士北麓	一般社団法人 富士河口湖町観光連盟	無回答	70%	-

※回答があった観光協会等のみ



調査結果②

自転車を利用する観光客の 主な目的と 山梨までの移動手段

- 観光客の利用目的は、ツーリング、大会・イベント、観光地巡りのいずれも同程度である。
- 自転車利用者の山梨までの移動手段は自動車という回答が多い。
- 自転車を利用する観光客数は増加しているという回答が多い。

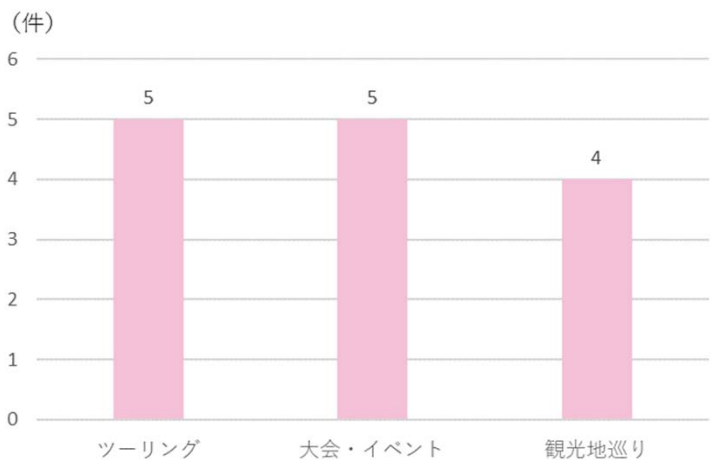


図2. 自転車利用者の目的（複数回答） n=12

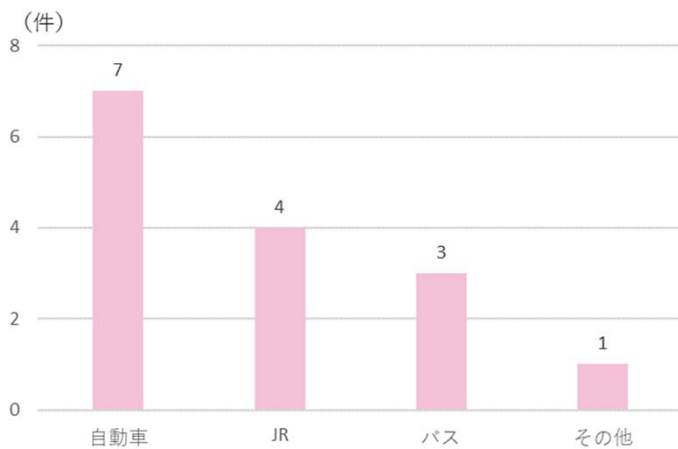


図3. 自転車利用者の山梨までの移動手段（複数回答） n=9

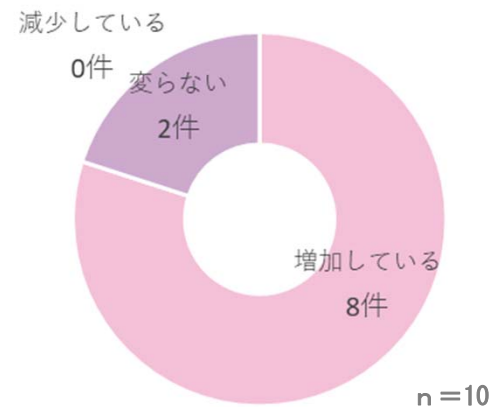


図4. 自転車を利用する観光客の推移



調査結果③

自転車利用に関して観光協会が行っている取り組みについて

- 自転車利用に関する取り組みは実施していない施設が多い。
- 山梨市観光協会は台湾へのプロモーションを積極的に行っている。
- 店舗や駐車場に対し、サイクルラックの設置を推進している観光協会も見られる。

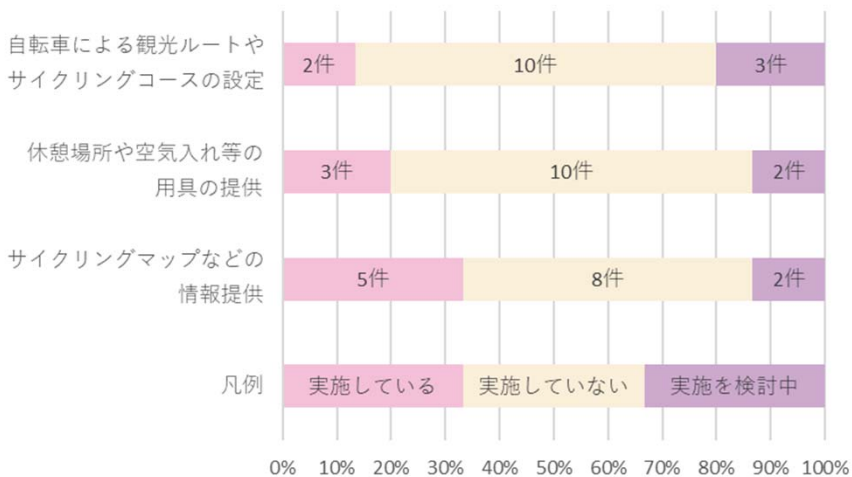


表2. その他の取り組みの実施状況

峡東	石和温泉観光協会	・現在石和温泉観光案内所へお願いをしてレンタサイクル（電動自転車）を行っています。
	山梨市観光協会	・サイクルスタンドを店舗等に試行的に設置している ・台湾人サイクリストを対象に市内のモデルコースモニターツアーを実施している。 ・サイクルモードインターナショナルや台湾日月湖のサイクリングイベント等に出展しPRを行っている。
富士北麓	ふじよしだ観光振興サービス	サイクルラックの設置
	忍野村観光協会	民営駐車場経営者である観光協会員に依頼し、自転車用駐車場を用意。

表3. 今後、自転車利用に関して予定しているサービスや取り組み

峡東	山梨市観光協会	・市内のレンタサイクル（電動アシスト付き）サービスが十分でないため、女性やファミリー層向けに充実を図りたい。 ・サイクリングモデルコースに案内表示等の整備を進めたい。
富士北麓	一般社団法人山中湖観光協会	サイクリングmapは作成したいと思っている



調査結果④

サイクルイベントの実施状況について

- 6件の観光協会等がサイクルイベントを実施していると回答している。
- 傾斜や景色等の特性を活かした大会や、フルーツ等の特産物を活かしたサイクルイベントが多い。
- (一社)山中湖観光協会では東京でのプロモーションイベントを開催している。

表4. 観光協会が携わるサイクルイベントの概要

地域	観光協会等の名称	イベント名	イベント内容
峡北	葦崎市観光協会	戦国ヒルクライム in 葦崎・甘利山	・ツール・ド・ニッポンの自転車イベントのひとつ。平均勾配9.7%、最大勾配13.5%にもなる甘利山を駆け登る激坂レース。開催時期：7月の日曜日。 ・参加人数：443人（H30実績）
峡南	富士川地域・身延線沿線観光振興協議会	南アルプスロングライド（ツール・ド・富士川ステージ）	・平成30年11月17・18日開催。 ・南アルプスロングライド 計約900名。内、ツール・ド・富士川ステージ 約460名 ・主催：NPOやまなしサイクルプロジェクト
峡東	石和温泉観光協会	シクログ ワインリゾート in山梨	・山梨市、甲州市、笛吹市、三市合同開催
	笛吹市観光物産連盟	山梨フルーツライド	・峡東地区を自転車で巡るイベント。 ・8月最終日曜日に行い、フルーツをPRするイベント。 ・昨年450人参加
	山梨市観光協会	山梨フルーツライド	・ロングライド ・8月下旬 ・約400人
		JAPANヒルクライムin乙女湖	・ヒルクライムレース ・5月下旬 ・約100人
富士北麓	一般社団法人山中湖観光協会	山中湖サイクリングファンミーティング	・3/16、東京で開催 ・FM東京との連携事業 ・ゲストトークショーや、山中湖の情報発信、特産名産の試食など
		山中湖サイクリングファンツアー	・6/1開催 ・サイクリングイベント ・オリンピック体験ライドなど

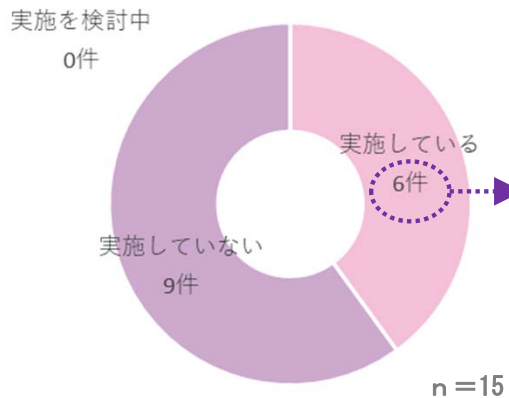


図5. 観光協会が主催・後援で携わるサイクルイベントの実施状況



調査結果⑤

レンタサイクルの実施状況について

- 観光協会でレンタサイクルを行っているのは2件のみで、多くはレンタサイクルの導入の予定はない。
- 石和温泉観光協会と笛吹市観光物産連盟では「石和温泉レンタサイクル」を実施している。

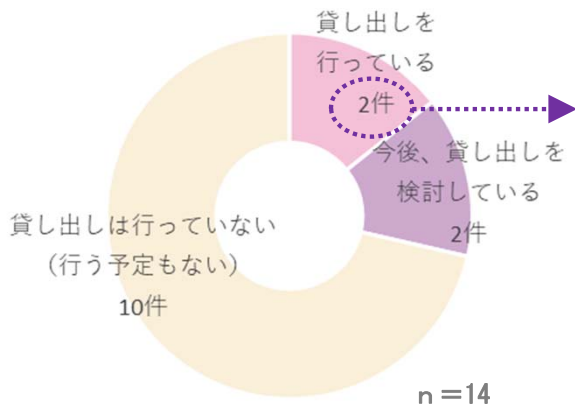


図6. 観光協会によるレンタサイクルの実施状況について

表5. 観光協会が携わるサイクルイベントの概要

地域	観光協会等の名称	事業名	事業開始時期	営業時間	年間利用者数	自転車タイプ	台数	料金	備考
峡東	石和温泉観光協会	石和温泉レンタサイクル	H28年	9:00~16:00	120人	電動アシスト	3台	3時間1,000円 (以降は1時間毎500円)	
						日常利用の自転車	5台	0円(制限なし)	無料の自転車は保証金1000円を預かり、返却の際に返金するシステム
	笛吹市観光物産連盟	石和温泉レンタサイクル		9:00~16:00	1500人	電動アシスト	2台	3時間1,000円 (以降は1時間毎500円)	※石和温泉観光協会からの委託

観光目的として行っているが、通院など観光以外の利用も多い

※石和温泉レンタサイクルは石和温泉観光協会が行っている電動アシスト自転車のレンタサイクル事業で、笛吹市観光連盟にも業務を委託している。
石和温泉観光協会は石和温泉足湯ひろばで、笛吹市観光物産連盟は石和温泉駅観光案内所で、それぞれ貸出しをしている。



調査結果⑥

自転車による観光の利点と課題について

- 二次交通としての自転車利用が期待されている。
- 自転車利用の促進には、自転車走行環境や、受け入れ環境の整備が課題である。

表6. 自転車による観光に関する利点と課題

利点	峡南	富士川地域・身延線沿線観光振興協議会	・当地域は山間地が多いため、自転車愛好家には好まれる地域だと思われます。
	峡東	笛吹市観光物産連盟	・二次交通が発達していない場所への交通として人気。
		山梨市観光協会	・公共交通機関が不便な本市では観光客の二次交通の手段として自転車（特に電動アシスト）の活用は大変有効であるとする。
課題	峡北	韮崎市観光協会	・自転車の駐輪スペース等の不足
	峡南	富士川地域・身延線沿線観光振興協議会	・自転車愛好家には好まれる地域だと考えるが、観光（地域の活性化）に繋がるとは考えられず、観光施設等に立ち寄っていただくための環境整備も必要だと思われる。
	峡東	山梨市観光協会	・サイクリスト誘客のためプロモーションは行っているが、受け入れ環境の整備（案内標識、休憩施設、レンタサイクル等）が十分でないため、今後、整備のための財源確保が課題となる。
	東部	都留市観光協会	・道が狭く、安全性の確保が課題。
		大月市観光協会	・課題として、大月市は坂道が多く、移動に体力を要する。
	富士北麓	ふじよしだ観光振興サービス	・道が狭く安心して自転車利用が出来ない状況
鳴沢村観光協会		・村内が傾斜が多く観光地点が離れすぎているため自転車でのメリットを多く出せない。	
一般社団法人 富士河口湖町観光連盟		・利用者の安全対策、ルート整備、乗り捨て対応など	



調査結果⑦

自転車利用全般について

- 二次交通としての自転車利用やサイクルツーリズムへの期待は見られるものの、傾斜や拠点間の距離等、利用促進への課題もある。
- 大月市観光協会では、オリンピックのロードレースが山梨県で開催されるため、自転車利用機運を高めたいと回答。

表7. 自転車利用全般についての意見

峡北	韮崎市観光協会	・公共交通機関（バス・電車）の本数が少ないため、自転車利用は効果的である。
峡南	富士川地域・身延線沿線観光振興協議会	・以前、電動アシスト付き自転車を活用しての周遊プランについて検討したこともありましたが、地域が広く拠点と拠点との間の距離がありすぎる等の課題が浮き彫りになりました。
	身延町身延山観光協会	・当身延山周辺はご承知のとおり急傾斜地ですので、自転車利用は少ないです。
峡東	笛吹市観光物産連盟	・観光目的として貸し出しをしているが、病院など観光以外での利用も多い。 ・自転車の乗る人のルールをしっかりとしないと大事故につながる（もちろん車に乗る人も）
東部	大月市観光協会	・山梨県が東京オリンピックにおける自転車競技のコースとなるため、自転車利用の機運を高めたい。



調査結果⑧

自転車利用者へのおすすめ観光スポット

- 様々な観光スポットが挙げられている。
- 一般的な観光スポットの他、サイクリストに好まれている激坂（富士川流域・身延線沿線観光振興協議会）、眺望の良い広域農道（山梨市観光協会）、トレーニングに適した路線（上野原市観光協会）を挙げる回答も見られ、特徴的である。

表 8. 自転車利用者へのおすすめ観光スポット

峡北	韮崎市観光協会	・幸福の小径 ・大村美術館 ・武田八幡宮 ・わに塚のサクラ ・新府城 ・甘利山
峡南	富士川地域・身延線沿線観光振興協議会	・身延山久遠寺周辺や富士川町平林地区は、イベント時の激坂ポイントとして好まれています。 ・その他、四尾連湖や国道300号線などありますが、とにかく坂が多いことと信号が少ないことがセールスポイントだと思われます。
峡東	笛吹市観光物産連盟	・春は桃の花 ・夏～秋には果物狩り ・人気スポットは桔梗屋
	山梨市観光協会	・広域農道（フルーツライン）が整備されており、眺望が良くサイクリングに適した道路環境がある。 ・周辺には観光農園（もも・ぶどう・さくらんぼ・いちご）が点在し、サイクリング途中でフルーツ狩りを楽しむことができる。
東部	一般社団法人 上野原市観光協会	・秋山温泉を起点として県道36号線を都留市の方面に向かい、雛鶴峠のトンネル手前で折り返す25キロほどのコースは、交通量も少なくロードレース前のトレーニングなどに良いようです。
	都留市観光協会	・田原の滝公園 ・十日市場 ・夏狩湧水群（太郎次郎滝など）
	大月市役所	・名勝猿橋 ・岩殿山 ・矢立の杉
富士北麓	一般社団法人 富士河口湖町観光連盟	・駅の道かつやま ・大石公園など